

なぎさ

京急のまちマガジン
June 2026 No.657

沿線を愛する人の、とっておきの店

特集 北品川駅 京急蒲田駅 横須賀中央駅ほか



スターライン

知り合って

最寄りの駅名を

初めて聞いた日

聞き慣れない駅名に

聞き返したあの日

会いに行きたびに

なじんできた駅名

おいはまと書いておっぱま

ぱ行のはじけるような元気な音

HAPPYと同じPが2つ

追浜

家族が始まった大切な場所

作／ペンネーム・サブリーナ大工



あなたにとっての京急を詩にしてみませんか？

「忘れられないあの日の車内アナウンス」「学生時代に通った、恋人とデートしたあの駅・あのまち」
京急沿線の思い出、お気に入りの電車や駅、車窓の風景など、『なぎさ』に掲載する詩を募集しています。

- 応募方法／はがきか封書、またはEメールにて下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。
①詩とタイトル（詩は300字程度）②郵便番号、住所 ③氏名（匿名希望の場合はペンネームも）④年齢 ⑤性別
⑥電話番号、(Eメール応募の場合)メールアドレス ⑦本誌のご感想
- 締め切り／6月15日(月) 消印有効
- 応募先／〒220-0011 横浜市西区高島1丁目2番8号 ㈱京急アドエンタープライズ『なぎさ』657号 詩募集係
E-mail : nagisa.hiroba_e37@keikyu-group.jp

※掲載された方には京急オリジナルQUOカード(1,000円分)を進呈します ※作品の掲載発表は冊子の発行をもって代えさせていただきます。
応募作品は返却いたしません。誤字など応募作品に一部加筆・修正させていただく場合があります ※応募作品の使用権は京浜急行電鉄㈱
に帰属します。発表の作品に著作権侵害等が発生した場合、一切の責任は負いかねます

読者プレゼントはWEB応募になりました！

右の二次元コードを読み込んでアンケートに回答して下さった方の中から、
抽選で京急オリジナルQUOカード 1,000円分(10名さま)をプレゼント！

[締め切り] 6月28日(日) 23:59



※ご応募いただいた方の個人情報は、作品掲載および賞品の発送以外の目的で使用することはありません

制作/noi 株式会社 Editor in Chief / 殿井悠子
Editor / 中野幸子 (特集、12.MIULIKE) 校正 / 森谷仁美 Designer / 安田和樹、高野美緒子 (MIULIKE) Photographer / 村上未知 (表紙、特集)
森田晃博 (10、16)、津濱和貴 (MIULIKE) Writer / 半澤剛吉 (9)、小新井知子 (10、16) illustrator / 横山吉朋 (2)、牛久保雅美 (MIULIKE 表紙)



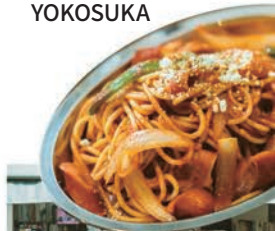
KOJI UEDA
from lober/KAMATA

AKI KIUCHI
from YOSOMONO/
YOKOSUKA

北品川駅 京急蒲田駅 横須賀中央駅ほか

沿線を愛する人の、 とっておきの店

何度も行きたくなる街、ずっと暮らしていきたい街。それは、「あの店があるから」が理由だったりする。横須賀のライター、蒲田のシェフ、品川のブックカフェ店主。沿線で暮らし、働く人のとっておきの店とは？ 知ると、いつもの街がきっともっと好きになる。



RYOTA SATO
from KAIDO books&coffee/
SHINAGAWA



過去と今が重なり合って、新しい価値が生まれる。
時代と自分を見つめ直せる横須賀

01



店内には稲葉さんの目利きの書がぎっしり。「本を読むことは自分を知ることにつながる」と、生活者の視点に寄り添った書棚がお客さんと本を引き合わせる。ビジュアル書の棚は、ABCで長年洋書やアート関連書籍の棚を担当していた稲葉さんの真骨頂。



横須賀中央駅

Books & Coffee AMIS

(エイミス)

店主との“Good Vibrations”が生まれる
木内さんのパワースポットの古書店

店主は、かつて木内さんが通っていた青山ブックセンター（ABC）六本木店の店長だった稲葉恵一さん。そんな稲葉さんのストーリーを書き残したいという思いが、『ヨソモノ』をつくる原動力となった。

📍横須賀市上町 1-41 📞booksandcoffee.amis

紹介者 001

木内 アキさん
@a_yosomono



北海道生まれ。ジーンズブランドの広報を経て、2004年からフリーランスで活動するライターに。18年に東京から横須賀に移住。24年に文筆レーベル「YOSOMONO BOOKS」を立ち上げ、インディペンデント文芸 ZINE※『ヨソモノ』を発行。

※ ZINE は自主制作の小冊子

東

京で雑誌や書籍などの執筆、制作を手がけていた木内ア

キさんが、横須賀に移住したのは2018年のこと。条件は、都心まで2時間以内で行ける場所。移り住んでは、顔が見えるやりとりが残る商店街が大のお気に入りになった。

「八百屋さんで旬の野菜を聞くと、おすすめの食べ方まで教えてくれたり、店の近くにふとある、けもの道のような細い階段を上がると高台から海が見えたり。思いもよらない出会いや景色にいまだにワクワクしています」

横須賀にある自然や素朴な暮らしのある日常にときめくのは、「自然豊かな北海道で育ったからかも」と木内さんは分析する。気になってのぞいた店や、友人に「好きそうだと思って」と紹介された店で、魅力的な店主やアイテムに出会ってきた。木内さんが発行する『ヨソモノ』には、そんな「ヨソモノ」が見る横須賀の数々がつづられている。

横須賀中央駅

OUT OF GANCHU

(アウト オブ ガンチュウ)

02

なにげないものも誰かにとっての宝物
モノの見方を再発見できるショップ

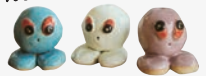
オーナー夫妻が「いいな」と思った古物や現代アート、アパレルが共存する隠れ家のショップ。時代、ブランド、スペックにとらわれない自由な世界観は、横須賀そのもの。昭和と平成に一世を風靡(ふうび)した懐かしアイテムも令和に新しくよみがえる!

📍横須賀市小川町 19-5 富士ビル No.11 503
@outofganchu_503

ユニークなアイテムが
ほかにいっぱい!



アーティスト・イシバシユミさんの
キャラクター「そいつ」の
お香立て(各4,400円)



北海道網走市の伝統民芸品
「ニギハク人形」(1,200円)

03



逸見駅

Re:San (リサン)

プリンパフェ (750円)
ナポリタン (サラダ付き 850円/
ランチのみ)

新オーナーがリスタート
50年間愛されてきた街の憩いの場

人気デザートは、ほろ苦カラメルをまとった固めのプリン。
銀の皿にのったナポリタンは木内さんの定番ランチ。

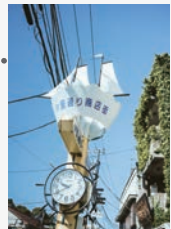
☎050-1158-8346 📍横須賀市東逸見 2-82-2
@re_san1978



昭和初期の看板建築が並ぶ
上町商店街で
タイムトリップ気分♪



海を見下ろせる平和中央公園の
ベンチは木内さんの読書場所



横須賀らしい
マリネモチーフの
オブジェ

逸見駅からすぐの逸見中央商店街に、喫茶店『Re:San』がある。パースナルスペースが守られながらも、街の気配がすぐそばにある横須賀らしい距離感が気に入る、木内さんが足を運んでいる喫茶店だ。「先代のオーナーさんが高齢のために閉店せざるを得なかった『San』という喫茶店を、今のオーナーさんが引き継いだのだと聞きました。だから、『Re:』」

先代が築いた時間や想いを今に伝えるために現オーナーが考案したのは、「HE昭和レトロ」なメニューだ。「古き良き時代を懐かしむだけに終わらず、今を生きる人たちの努力や工夫が、かつての時間と重なり合っている。横須賀には、何かを排除するのではなく、交わろう、受け入れようとする寛容さがあると感じています」

横須賀で感じる心地よさが、自分の対岸にあるものにも目を向けるきっかけになる。そんな出会いが、木内さんを横須賀に夢中にさせ続けている。

【 蒲田 】

Foodie なシェフたちがハシゴし合う“飲食界隈”

かい わい



ビーフシチュー (3,300 円)



上/互いの店に通い合う二人。下/ビーフシチューなどにつかうデミグラスソースは、富田さんの地元・宮崎県産の和牛と香味野菜、ワインを14日間煮込んでつくる。

紹介者 002

上田 光嗣さん
@lober.pintxos.sidra



愛媛県育ち。日本料理人を経てスペイン料理の世界へ。フラワー&ワインショップ「JUURI (ユーリ)」、スペインレストラン「Sonrisa (ソソリサ)」に続き、2025年11月にピンチョスとシードルの立ち飲みバル「lober (ロベル)」を蒲田にオープン。

京急蒲田駅

キッチン直樹

ひとくちで妥協のなさがわかる
真似できないビーフシチュー

01

富田直樹さんが2013年にオープンした本格派洋食店。看板メニューのビーフシチューは、上田さんが味わい深さになる逸品。ハレの日に人気のディナーは予約必須。

☎03-6424-8338 📍大田区蒲田 4-5-9

🌐<https://kitchen-naoki.com>

梅屋敷駅

SSYET (エスエスイエット)

インダストリアルな店内に映える
スイーツとの一期一会

02

住宅街にたたずむカフェ&バー。シェフの金井真実さんが世界のメインディッシュや小説などからインスピレーションを得て創作するスイーツは、その日にしか出会えない一品。細部まで計算された味わいと造形美に没入できる。

📍大田区西蒲田 1-2-12 カマタブリッチ 102

📧ssyet_tokyo



レモンのクーブと
アイスカフェモカの
セット (1,700 円)



〔品川〕

いつ行っても新しい出会いがある宿場町



古着やアクセサリのほか、リメイクしたバッグなど1点モノも並ぶ楽しい店内では、宝探しの気分を味わえる。佐藤さんが愛用しているイエローのパーカーもここで。下・左/チェックブラウス(2,900円)、下・中央/リメイクバッグ(9,800円)。

北品川駅 新馬場駅

Paris Madonna

(パリスマドンナ)

日本の古着ムーブメントを支えた
伝説のビンテージショップ

1970年代にアメリカの古着に憧れて以来、国内外で審美眼を培ってきた店主の“えみちゃん”。そのセレクトセンスには、著名人のファンも多い。

☎03-3740-4815 ①品川区北品川1-29-13

01

紹介者 003

佐藤 亮太さん

@kaido_booksandcoffee



品川区生まれ。人力車の車夫、広告代理店を経て、2010年に(株)しながわ街づくり計画を設立。15年には北品川商店街にブックカフェ「KAIDO books & coffee」(新馬場駅)をオープン。ホットドッグや生スコーンなどこだわりつくしたフードも人気。

佐藤さんのお気に入り、
ヘルシーな「デリBOX」(910円〜)

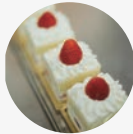


サフランライス

新馬場駅 北品川駅

Mista Corta

(ミスタコルタ)



旧東海道を行き交う人の
胃袋をつかんだデリカテッセン

シェフは、パティシエであり野菜ソムリエでもある山本未沙登さん。毎日通っても飽きない日替わり総菜とスイーツが並ぶ。

☎03-6260-0313

①品川区北品川2-2-6

🌐<https://select-type.com/s/mistacorta>



総菜は常時11種類、スイーツは10種類ほど。「迷ったときの決め手になるように」と、総菜のラベルには栄養コメントがついている。



色とりどりの総菜
イタリアンをベースにした

02

I'M HERE!

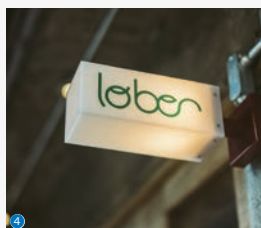
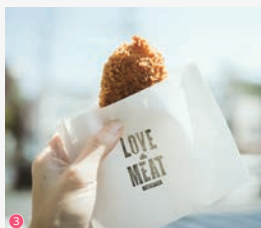
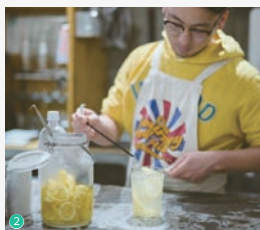
沿線の“地元”をこよなく愛する3人がいるところ



北品川に宿場のような居場所をよみがえらせた仕掛け人

蒲田の夜が名残惜しくなる“もう1軒”の立ち飲みバルオーナー

予定調和じゃない出合いがある横須賀のヨソモノ代表



①「旅」をテーマにした本やアートが並ぶ「KAIDO books&coffee」。②夏に人気の「自家製レモネード」(750円)。③「生スコーン」(540円〜)は、外はサクサク、中はしっとりふわふわの新食感。④ものづくり好きな佐藤さんのまわりには同志が集まる。ZINEを発行した元スタッフもいる。

①スペインのバスク地方のバルを再現した「lober」。ピンチョスは常時40種類から選べる。②「浅利と春菊のカルドソ」(1,400円)、「イクラとアンチョビのブリオッシュ」(800円)。③シールドは日、仏、西を中心に厳選。④ロゴは上田さんのアイデア。モチーフはリンゴと葉っぱ。


①『ヨソモノ』(1,600円〜)はAMISでも販売中。②近くを通れば立ち寄る「金子八百屋」。先代から受け継ぐぬか床でつくられた旬野菜のぬか漬けが好き。③街歩きの休憩に「横須賀松坂屋」の揚げたてコロッケ(150円〜)。④「平和中央公園」で出会ったハリスホークのルカ。

3人のローカルインフルエンサーの紹介動画は、@newcal_officialで順次公開予定。



はい！
送り出し工法で
安全に移動しました！

品川駅の再開発プロジェクト 深夜に巨大な橋が移動したって本当？

 2月23日（月祝）未明、品川駅の南側で重さ約1,400tもの巨大な橋梁がゆっくりと動き始めた——。「京浜急行本線（泉岳寺駅～新馬場駅間）連続立体交差事業」の八ツ山跨線々路橋の架設工事だ。東京都が事業主体で、京急電鉄が受託し事業を進め、JR東日本が設計・施工を担う。今回は橋の建設に「送り出し」という工法を採用。現場近くで組み上げた橋梁を自走式台車に乗せ、目的の場所までスライドさせるという手法だ。橋の直下にはJR東日本各線や東海道新幹線など計10線が走る。橋を吊り上げる大型クレーンを設置するスペースがないため、この工法が選ばれた。一番の見せ場は、鉄道業界でも極めてめずらしい“曲線状の送り出し”。全長約96mの橋桁をカーブに合わせて移動させるため、部材にかかる力が均等

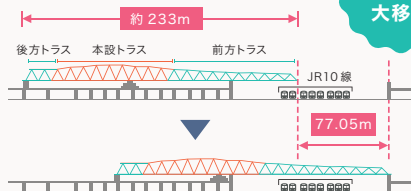
ではない中、16台の自走式台車をオペレーションルームから遠隔操作する。送り出し速度は、1分間に約2m。深夜の限られた時間、ミリ単位の精度が要求される条件下でプロの技術が結実した。

本事業によって品川駅が地平化（ホームを1階へ移動）すると、京急線内3カ所の踏切が除却され交通渋滞が解消される。駅にかかる工事や開発は公共交通機関の発展だけでなく、街そのものの景色や利便性まで大きく高めるものだ。

京急電鉄建設部の担当者は「鉄道」という公共交通機関ゆえの工事の難しさを語る。「これからも、『駅利用者の利用に支障がないようにする!』という決意を持って、駅のホーム・軌道を一時的に支える『仮受け』を行いながら解体をしていくなど、複雑な工程の中で工事を進めていきます」

京浜急行本線（泉岳寺駅～新馬場駅間）連続立体交差事業

鉄道により分断されていた地域で、道路と鉄道を連続的に立体交差化する



一晩で
77.05mの
大移動

左／作業は、最終列車通過後の深夜1時20分ごろに開始した。上／一晩で77.05mの橋桁を送り出した。この後は仮設トラスを送り出しては解体する作業、送り出したトラス橋の位置を調整するための旋回横取り作業、降下作業を実施。

いま、見えてくる 京急沿線の未来

File. **61**

50年後もうまいまぐろを、
三崎から世界へ

株式会社 三崎恵水産
石橋匡光

いしばし まさみつ / 株式会社三崎恵水産の創業者・石橋幸男氏の長男として城ヶ島で生まれ育つ。青山学院大学理工学部卒業後、1年半のアメリカ留学でマーケティングを学ぶ。帰国後は広告代理店業、飲食業に携わり、28歳で三崎恵水産に入社。2020年に代表取締役役に就任。

浦半島の南端、城ヶ島にある株式会社三崎恵水産は、創業60年のまぐろ卸問屋。対岸の三崎港は古くから遠洋漁業が栄え、現在は世界中の海でとれた冷凍まぐろが集まる日本有数のまぐろ基地だ。「三崎にはうまいまぐろを目利きする卸問屋が数多くあります。中でも当社は、取引先の多様なニーズに細かく対応した加工販売が特色です。こうした卸問屋の目利き力や加工力が『三崎まぐろ』のブランドを支えています」と話すのは、2代目社長の石橋匡光さん。

石橋さんが三崎恵水産に入社したのは広告代理店業、飲食業の仕事を経た28歳のとき。留学や異種の経験を生かし、「世界では売れない」といわれていたまぐろの輸出事業を2013年から開拓し、事業を拡大した。「和食ブームも手伝って、世界各国で大トロが高級食材として大人気になりました。今では当社の売り上げの20%を輸出が占めています」

加工で出る端材もムダにしない



細かいニーズに合わせて職人がカット



ホテルや飲食店など業者への卸売りに加え、プライベートブランドでまぐろ加工商品の直販も行う。

熟練の専門技術者が電動のこぎりを使って、1本のまぐろを部位やサイズごとに切り分けていく。

BUSINESS

冷凍まぐろの加工販売



三崎港を拠点に国内外から仕入れた冷凍まぐろは、城ヶ島にある三崎恵水産の本社工場に運び込まれ、加工、保管される。

環境にやさしい 保冷箱の開発・普及



植物由来の原材料を使い、保冷機能と可燃性を両立させた箱「tunagu cool box」を開発した。

子どもたちへの 食育講義



小中学校の社会科見学を積極的に受け入れ、水産業の意義やまぐろの食文化の現状を伝えている。

フードロス削減

副産物である血合いや尾の身を使ったドッグフード「FISHDOG」、まぐろやタイのアラを煮たスープ「フィッシュポーンブロス」を販売。



ドッグフード



骨の出汁スープ

再生可能エネルギー の活用

社屋に太陽光パネルを580枚設置し、超低温冷凍庫をはじめ事業にかかる電力の約20%をまかなう。



-50℃の冷凍庫

一方で、冷凍まぐろ産業には課題もある。まぐろを釣り上げると船上でマイナス60℃に急速冷凍して輸送、保管するため、エネルギーを大量消費する。「昨今の原油高でエネルギーコストが高騰しています。このままだと収益が出ずに遠洋漁業が衰退し、冷凍まぐろ産業も立ち行かなくなるのではという危機感があります」

50年後にもまぐろ食文化を残すため、三崎恵水産は持続可能な取り組みにも力を入れている。第一に再生可能エネルギーの活用だ。2011年の東日本大震災で計画停電が行われて電力が逼迫した経験から、翌年、本社屋上に太陽光パネルを設置。現在は事業にかかる電力の約20%をまかない、省エネ率を上げる工夫で電気代も最大3分の1に削減できている。「コストを下げながら、温室効果ガスの実質的排出量ゼロを実現しました。『環境にいい』という付加価値により、三崎恵水産のまぐろをさらに

おいしく感じていただけたい」

また、水産業の物流に使われる発泡スチロールは、使い終わると産業廃棄物になる。そこで、バイオマス原料の発泡体と段ボールを組み合わせた保冷箱を開発。環境にやさしく廃棄コストが下がるため、今は取引先の4割が利用している。

さらに、商品価値が低かったまぐろの未利用部位を使った商品を開発し、フードロス削減を実現。まぐろの骨などを使ったスープ、三崎で「茜身」と呼ばれる血合いから作ったドッグフードなどを自社で販売し評判を呼んでいる。

水産業のなり手不足も深刻だ。石橋さんは、水産業の良い部分を伝えたいと、小学生を工場見学に招き経済の仕組みを教える『まぐろ経済学』の講義をしている。

「新しいビジネスに挑戦し当社が成長していくことが、三崎の街の活性化につながるはず」

海と魚が大好きだと笑う石橋さん。その瞳には三崎の未来が映る。



そっとのせた茶葉が
開いて・・・
時間とともに味わい
も変化する茶酒。



第一運動公園

京急旧 600 形が
たたずむ公園の
車内にも入れますよ。



「葉山女子旅きっぷ」の「選べるごほうび券」と引き換えられる、お好きな茶の葉、茶のお香、お香台のセット。

逗子・葉山はスイーツの宝庫!

定番から個性派まで、さまざまなスイーツがあちこちに。
歩きながらお気に入りを見つけよう!

(下記は持ち帰り価格)

珠屋洋菓子店の
ピーチロール



ピーチがさわやかなアクセント。

珠屋洋菓子店

☎ 046-871-2242

🍷 450 円 (カット)

ミサキドーナツ&カフェ
生もちサンド 逗子限定の



和と洋を味わえる
ぜいたくドーナツ。

ミサキドーナツ&カフェ 逗子

☎ 046-884-8562

🍷 400 円



海上のパワースポットめぐりへ!



ひと駅ごとに行きたいまち

京急線 普通電車の旅

72.5 尺をぐるりと
まわって再出発!

2nd Season / vol.24

ずし は やま
逗子・葉山駅 編

心地よい非日常がある街

海と山に囲まれ、明治初期からリゾート地として愛されてきた逗子・葉山エリア。自然を大切に作る人たちがつくるおだやかな街並みとゆるやかな時間は、今なおここに。品川から京急線で約 1 時間。日帰りリトリートに出かけませんか?

このエリアのおもしろポイント 5

- 1 「葉山女子旅きっぷ」と一緒におトク旅
- 2 出口は南北 2 つ。駅の待ち合わせは要注意
- 3 葉山は日本ヨット発祥の地
- 4 逗子海岸はブルーフラッグ認証ビーチ
※国際環境教育基金が運営する国際環境認証制度
- 5 街中にあるなぎさスポットを見つけよう

★マナーが自印

📍 葉山マリーナ

リゾート感を味わうなら、クルージングへ。自然と融合した街並みなど、海上からしか見えない景色に出会える。

☎ 046-875-0002

📍 三浦郡葉山町堀内 50-2

🚗 駅(南口)から京浜急行バスで約 10 分

🛍️ ショップ・レストランは 10:00 開店ほか

🚢 江ノ島・裕次郎灯台周遊クルージング

大人 3,800 円ほか

(11:00 ~、13:30 ~、15:00 ~ 各約 45 分)

昨年好評だった「ずしオブジェ」が今年も登場!



B 逗子海岸

潮風と波音が気持ちいい散歩コースであり、プレーパーク的な存在。海開き中は海水浴客とビーチハウスで砂浜がカラフルに。

- 📍 逗子市新宿 1-2210-6 先ほか
- 🚶 駅(南口)から徒歩約11分 ※「ずしオブジェ」の設置は6月下旬予定、海開きは7月3日(金)

タイトルは
逗子海水浴場
で集めた
ペットボトルの
キャップを
アップサイクル
したもの。



逗子・葉山に行くなら、
葉山女子旅きっぷで!

「電車&バス乗車券」「選べるごはん券」「選べるごほうび券」がセットになって、品川駅からは4,030円(デジタルきっぷは3,630円)。女性だけでなくなたでもお買い求めいただける便利でおトクなきっぷです。



👮 今日に架まる
大海原が心を
癒やしてくれます。

C CINEMA AMIGO

海辺の一軒家を改装したシネマカフェ。映画や食を通じて人と人をつないできたカルチャーコンプレックスであり、友人宅のような雰囲気。

- ☎ 046-873-5643 📍 逗子市新宿 1-5-14
- 🚶 駅(南口)から徒歩約15分 🎫 シート料金(ワンドリンク含む)大人1,900円ほか ※上映時間などは <https://cinema-amigo.com> でご確認ください

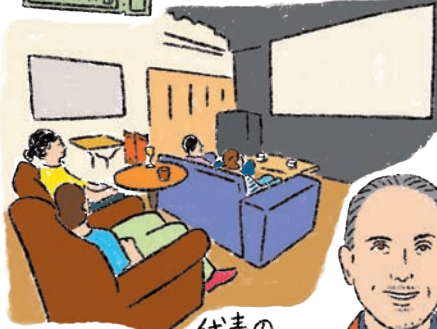
オスメスポット
あります!



逗子・葉山駅
代表の
浅野 修一さん

逗子に生まれ育って五十数年
逗子・葉山駅担当は約4年

有名どころはもちろん、ガイドに載らない穴場スポットまで、エリアの見どころ案内はお手のもの。お気軽におたずねください。歩き疲れた帰りに駅をご利用の際は、ホームまで階段がない南口改札からお入りいただくとうれしくです。



代表の
長島 源さん

ゆっくりして
いってね〜

A 逗子茶寮 凜堂 -rindo-

のれんの先は茶室のような空間。山本睦希さんが入れるお茶と茶酒(ティーカクテル)が五感を満たしてくれる。

- ☎ 046-870-3730
- 📍 逗子市逗子 5-1-12 カサハラビル逗子 B-2F
- 🚶 駅(北口)から徒歩約1分
- 🕒 茶寮12:00~16:30(LO16:00)、BAR17:30~24:00(LO23:30)
- 🕒 休不定休 🍷 アールグレイ・ノール1,540円ほか ※17:00以降はBARチャージ660円



ブレドールの
逗子店
☎ 046-874-6450
🍷 330円

まるで「リビング」で
映画を見ている
心地よさ。

京急開発・子ども夢の商店街実行委員会

「子ども夢の商店街」開催!



コンセプトは『子どもだけでつくる商店街』。子どもたちが仕事や商売を体験し、働く楽しさや経済サイクルを学べて、家族で楽しめる2日間のイベントです。"花、をテーマにした新企画も登場。入場は無料。

■開催日時/6月6日(土)・7日(日)(各10:40~12:40、13:40~15:40) ※荒天中止 ■会場/ BIGFUN 平和島およびポートレース平和島(雨天時/ポートレース平和島場内) ■詳細/ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000066.000106443.html>

川崎マリエン

「川崎マリエン展望室」に新型装置誕生



地上51mにあり、工場夜景など360°のパノラマビューが楽しめる展望室に、目の前の海を行き交う船たちがリアルタイムで映し出される装置が誕生。50インチの大画面上で気になる船をタッチすると、その情報を見ることができるほか、全世界の船の運航状況などをリアルタイムで知ることができます。

■使用料/無料 ■お問い合わせ/044-287-6000

京急百貨店

2026夏の贈り物 お中元ギフト承りスタート!



京急沿線の名産品をはじめとした「かながわグルメ」や、全国各地の自慢の味覚、夏を涼やかに乗りきるひんやりスイーツなどを多数ご用意しました。大切な方やご自分へのご褒美に。

■ギフトセンター開設期間/6月11日(木)~7月15日(水) 各日10:00~18:00 ■会場/7階催事場 ■オンラインショッピング(24時間申し込み可) /7月16日(木)11:00まで ■お問い合わせ/0570-045-848 (ナビダイヤル)

三崎観光

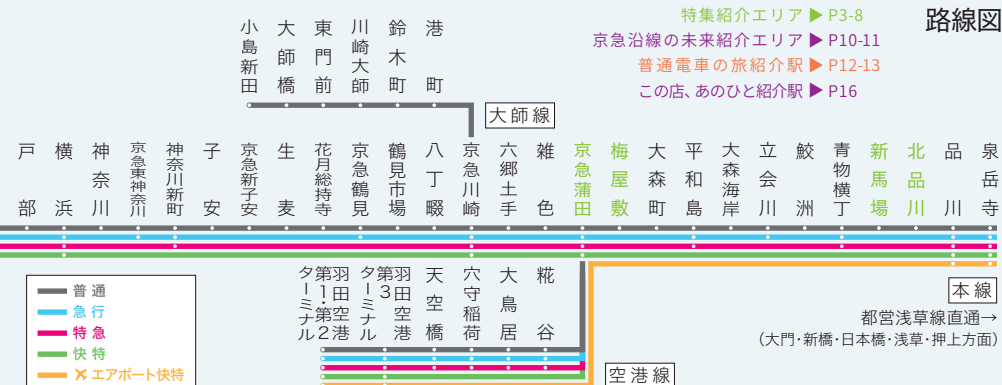
「城ヶ島おさかな市場」オープン!



4月18日(土)にオープンした「城ヶ島おさかな市場」は、三浦半島で水揚げされた新鮮な魚介類を鮮度にこだわって販売する直売所です。三浦ならではの土産物も取りそろえ、地元の海と人をつなぎます。

■場所/三浦市三崎町城ヶ島500-28(三崎口駅から京浜急行バス「城ヶ島漁港前」下車徒歩約1分) ■営業時間/10:00~18:00 ■定休日/火曜日(祝日の場合は翌日) ■お問い合わせ/046-881-3065(10:00~17:00)

路線図



京急沿線マガジン「なぎさ」「MIULIKE」バックナンバーは、京急電鉄オフィシャルサイト「KEIKYU WEB」でお楽しみください。



なぎさのくらし



京急電鉄

京急沿線のくらしがもっと楽しくなる
新メディア「なぎさのくらし」がはじまりました

京急電鉄が展開する「なぎさのくらし」は、沿線の魅力を「知る・行く・買う」でつなぐ地域密着型の新メディアです。広報紙「なぎさ」に掲載した記事をWEBで発信するだけでなく、地域ライターによる生活に密着した情報発信などを通じ、沿線価値の多角的な発信にも取り組みます。記事は経路検索やきっぷ購入機能と連動し、紹介スポットへの移動や体験をシームレスに提供します。

※本サービスは広報紙「なぎさ」をそのまま掲載するメディアではありません



詳細はこちら

公式アプリでも
お得な情報を
配信中!



公式アプリ
京急ストアの
うれしい!おいしい!
楽しい! 情報を
配信中!



Instagram

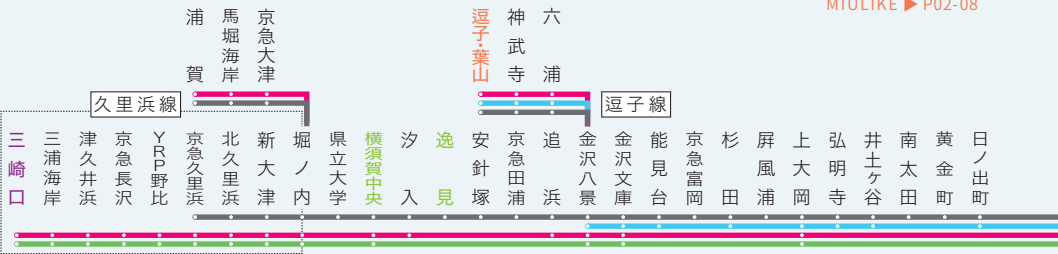
京急ストア

6月21日は京急ストア創立記念日
日ごろの感謝を込めて、「大誕生祭」を開催します!

今年もみなさまへ日ごろの感謝を込めて、「大誕生祭」を開催します。期間中は日生劇場音楽劇の鑑賞チケットや商品券が当たる「お買上げ抽選会」など、さまざまな企画をご用意しています。詳細はHPもしくは公式アプリ、Instagramにてご確認ください。みなさまのご来店を心よりお待ちしております。

- 開催期間/6月1日(月)~30日(火)
 - 詳細/ <https://www.keikyu-store.co.jp>
 - お問い合わせ/ 0120-34-0453
- (京急ストアお客様ダイヤル/ 10:00~18:00 ※土・日・祝日を除く)

MIULIKE ▶ P02-08



京急線の時刻や運賃など京急に関するお問い合わせは
京急ご案内センター (受付時間)9:00~17:00 年末年始は休業
※営業時間に変更となる場合がございます。
03-5789-8686 / 045-225-9696
京急ホームページ www.keikyu.co.jp

なぎさ 657号 MIULIKE Vol.30 2026年6月1日発行
発行/京浜急行電鉄株式会社
〒220-8625 横浜市西区高島1丁目2番8号
☎ 03-5789-8686 / 045-225-9696
編集/株式会社京急アドエンタープライズ 印刷/山陽印刷株式会社

次号は、2026年8月1日(土)MIULIKEとの合併号を発行予定です

ニッポーター続出の
「はねっ娘枝豆」



ブルーベリー狩りのあとは
カフェでひんやりスイーツを



上/「ブルーベリー」は約20種を栽培。順次食べられる品種が入れ替わります」と岩崎代表。下/500円玉大の実がなる品種も。



左/カフェ直売所は野菜と動物が描かれた外壁が目印。右/焼き芋アイス(680円)、ブルーベリースムージー(600円)、ブルーベリーピザ(1,200円)。素材の味を楽しめる逸品。



三崎口駅

三浦の農業をリードする農園で
とれたての初夏の恵みを

岩崎ファーム

三浦市と横須賀市にある計10万㎡の畑で、さまざまな野菜を生産する岩崎ファーム。全国的に珍しいのが、正月明けの七草粥がゆに使う「春の七草(※)」を栽培し、セットにした商品を作っていること。人の手で包装し、関東一帯のスーパーに約120万パックを出荷する。

今年、岩崎ファームは意欲的な経営や技術改革で地域農業に貢献した農業者に贈られる「日本農業賞」個別経営の部で特別賞を受賞。特に七草の生産で日本の伝統を守り継いでいる点が評価された。

「手間やコストをかけて、おいしくて価値の高い野菜を作る。『攻めの農業』でビジネスを成功させ、次世代につないでいきたい」と代表の岩崎泰樹ひろきさん。

2024年に三浦市初声町に開いたブルーベリー狩りができるカフェ直売所で

岩崎ファーム カフェ直売所

- 📍 三浦市初声町下宮田 3553-1
- 🚗 三崎口駅から京浜急行バスで「宮田」下車徒歩約7分
- 🕒 10:00～17:00 (カフェLO16:30)
- 【ブルーベリー狩り】7月中旬～8月末
- 👤 90分間食べ放題。中学生以上2,500円、小学生1,500円、幼児500円、3歳以下無料
- 【枝豆狩り】7～8月の土・日・祝日のみ
- 🍷 約4kg(さやの量)4,000円～※HPから要予約
- 📅 月・火曜日
- 🌐 <https://iwasakifarm.jp>

は、約1,500株のブルーベリーが栽培され、ブルーベリーを使ったピザなど絶品スイーツも食べられる。

6月から8月まで、直売所にはとれたての枝豆、トウモロコシ、ブルーベリーが並ぶ。夏の名物「はねっ娘枝豆」は、濃厚な甘みをもつブランド枝豆。旬の恵みを存分に味わおう。

※セリナズナ、ゴギョウ、ハハス、ホトケアザ、スズナ、スズシロ

